

公民館講座の合同開講式

学習意欲向上、情報の共有などを目指す

市教育委員会では、5月23日(木)、南那須公民館で「公民館講座合同開講式」を初めて開催し、活動に興味を持つ市民など約50人が参加しました。合同開講式は、各種講座の内容を多くの市民に知ってもらうことで、学習意欲の向上、情報の共有、情報交換の機会を設けることを目的として実施したものです。

当日は、主催者を代表して池澤進教育長が、「充実した人生を送るために、幅広いメニューの講座を楽しんでほしい」とあいさつ。来賓祝辞に続いて、各公民館長や指導員が、講座の概要を説明しました。中には、毎年、募集初日に定員に達してしまっほどの人気講座があり、講師からも歴史講座やものづくり講座、料理教室、健康講座など、多

彩な内容が詳しく紹介されました。式終了後には、那珂川町在住の岡倉ゆかりさんによるミニコンサートが行われ、美しい歌声に参加者は耳を傾けました。会場内には、昨年度の講座を紹介する写真や作品なども展示され、参加者は、様々な活動に興味津々といった様子でした。



右／館長・指導員が講座を説明。
下／岡倉さんによるコンサート。

実践で心構えを学ぶ

教職員対象に護身術教室

市教育委員会では、空手道スポーツ少年団の高橋徹氏(月次)を講師に招き、5月20日(月)、烏山中学校体育館で小中学校教職員を対象とした護身術教室を初めて開催しました。

当日は、池澤進教育長が、「護身の心構えを学び、今後の教育活動に生かしてほしい」とあいさつ。70人の参加者は、手をつかまれた際

の対処方法などを体験しました。

高橋さんは、「学校の先生にも護身術を学んでもらい、気づいたことを子どもたちへ伝えてほしい。今後は児童・生徒など、多くの人に護身術を教えていきたい」と話していました。

市教育委員会では、今後も、教職員や児童・生徒を対象とした護身術教室も検討しています。



実践的な指導をする高橋さん(中央)。

6月4～10日は歯の衛生週間

あなたの歯は何本？

成人の歯は、全部で32本ありますが、一番奥の第3大臼歯おやしらが生えてこない人もいるので、実際の本数は人によって違います。

昨年度、市では、特定健診受診者を対象に歯の本数を調査しました。調査結果では、30歳代で歯を失う人がいる一方、80歳以上では、2割を超える人が、20本以



消防と警察の連携強化

夏の災害に備え「水難救助訓練」

南那須地区広域行政事務組合消防本部は、那須烏山及び那珂川警察署と合同で水難救助訓練を、5月22日(水)、野上舟戸地内の那珂川で行いました。

この訓練は、梅雨や台風に伴う河川の増水等水災害期を迎えるにあたり、地域住民の安心・安全を守るため、迅速に救助活動を行えるよう毎年開いているものです。

当日は、消防防災ヘリコプター「おおるり」や消防・警察救助艇による救出訓練等を行いました。消防や警察などの関係者計70名が参加し、本番さながらの緊張感が漂う中、要救助者を見事に救出。見物に来ていた人々は、その様子に見入っていました。



「おおるり」による救助。



救助艇による救出訓練。

「高齢者の交通事故防止」テーマに

自転車講習会やチラシ配布

「高齢者の交通事故防止」をテーマに、5月11日(土)から20日(月)までの10日間、高齢者に重点を置いた交通安全県民総ぐるみ運動が県下一斉に実施されました。

運動に先立ち、10日(金)には、警察署や市、交通安全協会等が、中央交差点で周知活動を行い、高齢者や子どもに優しい「3S(スリーエス)運動」のチラシを配布して、交通安全を呼び掛けました。

また、23日(木)には、高齢者を対象とした「自転車免許制度講習会」が

上自分の歯を有しています。
一生自分の歯で美味しく食べるためには、1本でも多くの歯を健康に保つ事が大切です。歯は本来、からだの中でも丈夫な器官。手入れ次第で、一生使えるものです。

しかし、歯周病や虫歯で歯を失ってしまうと、噛む力が低下し、消化器官に負担をかけます。さらに、発音が不明瞭になり、顔の輪郭が変わったりすることもあります。

ぜひ、一度、手鏡などを使って自分の口の中の歯肉の色や形を観察してください。そして、自分に合った正しい磨き方で、口の中をきれいにしましょう。

なお、市では、市民の歯の健康を守るため、「歯周疾患検診」を実施しています(40歳・50歳・60歳・70歳の対象者には通知済み)。この機会に、ぜひ、歯科医に相談してみよう。

■健康福祉課 ☎0287-1887115

南那須公民館と南那須図書館で開かれ、19人の高齢者が、自転車を安全に運転するための基本的な技術を学びました。

【3S運動】

SEE(高齢者や子どもをいち早く発見する、動きをよく見る)

SLOW(高齢者や子どもを見たら減速する)

STOP(危険を感じたらすぐに停止する)



自転車の安全運転を学ぶ参加者。

五穀豊穰を祈り 加茂神社で梵天奉納

五穀豊穰と雷神信仰で知られている月次の加茂神社(通称・鳴井山)の例大祭が、5月19日(日)に行われ、大勢の見物客が集まるなか、育成会や地域の商業団体、農業団体等12団体が梵天を威勢よく奉納しました。



上/社殿で行われた巫女舞。
中/梵天を勢いよく叩きつける。
下/まきもちに参加する大勢の人々。

法被姿の参加者は、根ごと掘り起こした10メートル余の孟宗竹に縄が結びつけてある梵天を担ぎ、矢崎部品(株)のグラウンドを出発。約1.5キロを練り歩き、鳥居をくぐったところで梵天を勢いよく地面に叩き付けた後、300メートル余ある参道を一気に駆け上がり奉納しました。

社殿では、熊田の太々神楽保存会が巫女舞を奉納。今年、初舞台を踏んだ2人の巫女は、たくさんの人々が見守るなか、美しい舞を堂々と披露しました。また、まきもちも行われ、神社の敷地内にはあふれんばかりの人々が押し寄せました。

当日、梵天の奉納を終えると、その効果が現れたのか、青空が広がっていた空もにわか曇り出し、雨が降り出しました。

鳴井山の言い伝え

干ばつに枯れることなく、大雨にも濁ることなく増えることもなく、いつも一定量の水がわき出ているところから、鳴井山とよばれるようになった。

五穀豊穰と雷神信仰で有名な加茂神社(鳴井山)は、「本社前にある岩穴からは、干ばつときも枯れないわき水がある。この霊水を借りて雨乞いすると必ず雨が降る」という言い伝えがあり、古くから多くの人を訪れていた。

現在でも、5月第3日曜日に行われる例祭には梵天の奉納が何本もあり、地域を越えた祭として、市内外から多くの参拝者がある。

第6回 鯉のぼりまつり

子どもも鯉のぼりも元気いっぱい

「第6回鯉のぼりまつり」(那須烏山市まちづくり研究会主催)が4月14日(日)から5月6日(月)にかけて、清水川せせらぎ公園と国見の棚田で開かれました。5月3日(金)には、青空が広がる中、清水川せせらぎ公園でメインのオープニングセレモニーが開催され、450人余の家族連れでにぎわいました。

鯉のぼり約150匹と子どもたちが制作した「和紙の鯉のぼり」約80匹が飾られた会場では、まず、同研究会の大久保委員長が、「これからも研究会一丸となってまちづくりの役に立ちたい」とあいさつ。続いて、広場に設けられた特設ステージで、烏山高校吹奏楽部やザ・マーケッツによる演奏、国際医療福祉大学ダンス部のパフォーマンスが披露され、観客たちを巻き込んだパフォーマンスで、イベントを盛り上げました。そのほか、フリーマーケットや「和紙の鯉のぼり」制作体験、「ミニ鯉のぼり」プレゼントなども大人気でした。

また、まつりの一環として、「日本の棚田100選」に認定されている「国見の棚田」には、市民から寄贈された鯉のぼり子どもたち

が作った和紙の鯉のぼり等約100匹が設置され、新緑の中に生き生きと泳ぐ鯉のぼりを写真に収めようと、多くのカメラマンが訪れました。



烏山高校吹奏楽部による演奏。



ミニ鯉のぼりをする親子。

今年の当番町は「鍛冶町」

山あげ祭の準備真最中

7月26日(金)から28日(日)まで、烏山地区市街地で開催される、国の重要無形民俗文化財「山あげ祭」に向け、今年の当番町「鍛冶町」では、3月から本格的な準備を進めています。

鍛冶町は、昔からの伝統で全住民が協力して準備を進めるのが伝統で、5月9日(木)には、40人余の人々が集まり、わきあいあいと和紙の貼り付け作業に精を出していました。また、地域の伝統文化に触れ、後継者の育成につなげるため、烏山高校の生徒

にも呼びかけ、住民等と共に作業する姿が見られました。

今年は、以前までのちぎり絵ではなく、和紙を貼った山に30年ぶりに住民が絵を描き、山あげ祭に臨みます。中心となる若衆の大野義明筆頭世話人は、「躍動感のある山にしたい。伝統を

大切にし、鍛冶町らしいお祭にするので、是非、6年間の集大成である山を見てほしい」と力強く意気込みを話していました。今後は、7月1日(日)に八雲神社で今年の奉納余興の内容を知らせる奉告祭、7月7日(日)(雨天の場合は、14日(日)には、リハーサルが行われ、いよいよ準備も終盤に向かいます。



上/和紙を貼る作業。
下/これから絵が描かれる山。



シリーズ 市の文化財 第26回

市指定文化財

吉原横穴墓群出土品 (曲田)



これらは、須恵器と呼ばれる陶質の土器で、破片を含め6点が出土しています。

興味深いのは、土器の制作時期が奈良時代前半頃(8世紀)であるのに対して、横穴墓は少なくともその数十年前には作られており、明らかな年代差が考えられることです。

発見された状況から、土器は葬送儀式に使われたと推測されますが、墓の埋葬者と土器を供えた人物との関係や、数十年の時間の中で何が行われたのかなど、様々な想像を巡らすことができます。

わずか数点の土器ですが、歴史の面白さや奥深さを教えてください。

生涯学習課 ☎0287-88-6223

七合小で春の運動会



七合小学校では、5月18日(土)、春季大運動会を開催し、多くの来賓や保護者、地域の高齢者などが見守る中、全児童が熱戦を繰り広げました。今年のスローガンは、「みんな



でいっぱい汗を流して勝利の道へかけぬけろ」です。当日は、晴天の中、徒競走やダンス、障害物競走など24種目が行われ、真剣に競技する子どもたちに、会場から熱い声援が送られました。

上/3・4年「ウィーゴー」
下/5・6年「NANAGOソーラン」。



どろんピックより。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課秘書広報担当
☎0287-83-1112

チャリティー発表会で練習の成果披露

歌や舞踊などの芸能活動の愛好団体である、「那須烏山市歌謡協会」と「烏山地区民俗文化奉仕協会」が相次いで、チャリティー発表会を開きました。

4月28日(日)に、南那須公民館で歌謡協会が「桜まつり」を、5月19日(日)には、烏山公民館で民俗文化

奉仕協会が「あやめまつり」を開催し、大勢の出場者や来場者でにぎわいました。

発表会では、市内の会員等を中心に、日ごろの練習の成果を披露し、多くの喝采を浴びていました。

チャリティーで集まった収益金(民謡協会が約3万円、民俗文化奉仕協会が約6万円)は、全て社会福祉協議会に寄付されました。



水田に500人余の笑顔あふれる 横枕青年団「どろんピック」初開催

横枕地域で、5月4日(土)、横枕青年団(※主催)の「どろんピック」が開催され、市内外から訪れた500人余の家族連れが、ゴールデンウィークの1日を楽しみました。

今回、初めてとなるこのイベントは、新緑の美しい時期、多くの人々にこの自然の素晴らしさを味わってもらい、地域活性化に生かそうと地域の若者等が開いたものです。

当日は、前日の雨もうそのような青空が広がる中、朝10時から公民館跡地では、フリーマーケットや模擬店がオープンし、子どももから高齢者まで幅広い年齢の人々が交流を深めました。そして、隣接する水田では、泥んこ徒競走や泥ん

こバレー、バットでぐるぐる一本橋渡り、自転車一本橋渡りなどの競技が繰り広げられ、泥にまみれながらも笑い声が絶えないイベントとなりました。

会場には、大谷範雄市長、市議会

の中山五男議長のほか、築和生衆議院議員や三森文徳県議会議長、そして、栃木県のマスコットキャラクター「とちまるくん」も駆け付け、地域の事業を祝いました。

同青年団の生魚貴宏団長は、「こ

んなに多くの人々が集まってくれ感謝している。これも、地元や企業の方々の協力のおかげ。今後このイベントを続けていきたい」と話していました。



上/とちまるくんととちまる体操。
中/泥まみれの参加者たち。
下/自転車一本橋渡り。

(※)横枕青年団とは？

県内唯一の青年団である横枕青年団は、平成22年に地域発展のために設立し、今年で結成4年目、団員19名。今回のどろんピックでは、青年団のほか、地元自治会や日野町の若衆等が助っ人として運営に協力した。6月15日(土)と22日(土)には、横枕にて「ホテルまつり」も開催される。

左/チャリティー桜まつりで披露された美しい舞。
右/たくさんの観客の中、あやめまつりで歌を披露。



子ども田んぼで古代米の田植え体験

七合会(木村保司会長)と大桶地域みどり保全会(木村善二会長)は、大桶下地内の田んぼで5月26日(日)、古代米の田植え体験を行いました。当日は、若鮎クラブやボーイスカウト、桔梗寮、地元育成会等、地域の子どもを中心に市内外から約150人が参加しました。

この事業は、自然に触れ合える昔ながらの手植えなどを体験することで、子どもたちに日本の伝統文化を学んでもらおうと開いてい

るものです。

子どもたちは、苗の植え方を聞いた後、慣れない手つきで一生涯懸命に苗を植えていました。田植え体験の後、参加者等は魚のつかみ取りを泥まみれになりながら楽しみ、昼食には女性スタッフから、古代米のおにぎりや豚汁等が振舞われ、舌つづみを打っていました。

秋には、収穫祭が行われ、今回植えた古代米が振舞われます。

伊勢神宮献穀米の田植え

志鳥の滝口良一さんの田んぼで5月15日(水)、県青年神職むすび会(滝口貴史会長)が、「伊勢神宮」に献穀する米の苗を植えました。この水田に献穀米が植えられるのは、今回で12回目です。

当日は、同会員など20人が参加し、「イセヒカリ」の苗を約1アールの田んぼに植えました。同会では、10月の伊勢神宮遷宮の直後に献穀を予定しています。滝口会長は、「米づくりは日本の伝統文化。皆さんに米の大切さをもっと知ってほしい」と話していました。



参加者の手で丁寧に苗が植えられます。



田植えを体験する子どもたち。

高齢者救助で感謝状



感謝状を受け取る根本さん(右)。

道路で転倒した高齢者を救助し、地域安全に貢献したとして、大金タクシードライバーの根本治重さん(旭2丁目)に、5月9日(水)、大貫良之那須烏山警察署長から感謝状が贈られました。

根本さんは、4月23日(火)、田野倉地内で、バイクで転倒した高齢者を発見し、自宅への送迎を手配するなどしました。

「デマンド交通」のドライバーを兼務する根本さんは、「地元のタクシー会社なので、防犯や高齢者の見守りにも日頃から心掛けています」と話していました。

子どもたちの交通安全願い 婦人会がマスコット人形寄贈

那須烏山市婦人会(柳田京子会長)では、このほど、会員が手作りした「交通安全マスコット人形」を小学1年生全員に贈りました。

この人形は、同会の交通安全文化部が中心となり、2月から準備を始め、地元産の烏山和紙を使って一つひとつ丁寧に作ったものです。200を超える人形は、各校の交通安全教室などの際に、子どもたちに手渡されました。

報告のために、市役所を訪れた柳田会長は、「新1年生の交通安全を願い、一生懸命作りました。子どもたちには、絶対、交通事故に遭わないでほしい」と話していました。



マスコット人形を大谷市長に手渡す婦人会の皆さん。

おめでた

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 須藤 音 (孝之・順子) 志鳥
 宮脇 歩 (夢・越・妙子) 落合
 吉葉 柚 (輝夫・早苗) 曲畑
 平野 慶 (寛和・美穂) 向田
 佐藤 未 (喜治・恵子) 金井1丁目
 栗野 蓮 (菜・博明・理恵) 興野
 塩田 綾 (乃・太・友美) 大金
 塩田 奈 (々・一幸・多恵) 藤田
 大森 乃 (音・優一・真由) 神長
 金田 陽 (海・大志・律子) 中央1丁目
 佐藤 蘭 (竜太郎・かおり) 南1丁目
 古内 香 (名・秀直・智佳子) 金井2丁目
 飯田 紗 (羽・誠二・みどり) 旭2丁目
 佐々木 葵 (太・康雄・恵梨子) 南大和久
 有我 匡 (人・直宏・円) 熊田
 太田 龍 (成・隆之・三穂) 落合

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●関東・東日本ソフトテニス選手権大会予選会 (4月7日(日) 14日(日) 県総合運動公園)
 【シニア男子70】▽ペア優勝…久郷啓二 (高瀬・澤村・祐毅) 月次
 ●第32回栃木県空手道少年錬成大会 (4月26日(月) 小山市県南体育館)
 【小学3年男子組手】▽準優勝…鈴木隆史
 【小学6年男子組手】▽第3位…矢代力音
 【小学3年女子組手】▽優勝…片岡愛裕

●第8回那須烏山市弓道大会 (4月26日(月) 烏山弓道場)
 【本射生徒の部】▽優勝…堀江友花里 (烏山高) ▽準優勝…石川佳輝 (烏山高)
 ▽第3位…薄井健太 (烏山高)
 【本射一般男子の部】▽優勝…平山智明
 ▽準優勝…金子恒彦
 【余興大乱点】▽優勝…荒川大智 (烏山高) ▽準優勝…鈴木宗史 (烏山高) ▽第3位…金子恒彦

受賞おめでとうございます

●栃木行政評価事務所長感謝状 (5月24日(金) 栃木県青年会館)
 ▽萩原 宣子(中央3丁目)

ご寄付ありがとうございます

■ふるさと応援寄付金
 ・岡本洋子様(埼玉県富士見市) から1万円が寄付されました。
 ・又木成美様(宇都宮市) から5万円が寄付されました。
 ■社会福祉事業寄付金
 ・本田實恵子様(東京都豊島区) から20万円が寄付されました。
 ※市では、ふるさと納税制度による寄付金を「ふるさと応援寄付金」として預かりし、寄付者が希望する事業に活用しています。優遇措置等、詳しくは、市ホームページ「ふるさと納税」をご覧ください。



記念植樹の様子。

旧烏山東小学校を有効活用 明和ふれあいガーデン オープン

烏山東小学校(小木須)の跡地を再生活用した介護付有料老人ホーム「明和ふれあいガーデン」(株) DAIKAN)の竣工式が、5月29日(水)に行われました。

式の途中には、多くの関係者が見守る中、「いちょう」と「いちい」の記念植樹が代表者により行われ、今後の発展を祈りました。

同ホームは、廃校を活用した老人ホームとして全国でも珍しい施設です。6月1日(土)に入居を開始し、地域の人々とのふれあいを大切にしていきたい方針です。また、体育館やグラウンド等は一般の人々に貸し出しをします。(☎0287-83-8735)

おかげ様で30年!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険:自動車・自賠責・火災(地震)・社員災害補償

◇生命保険:終身保険・収入保障・先進医療・三大疾病

■問合せ 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

☎0287-88-9870 FAX0287-88-0234

介護付有料老人ホーム 明和ふれあいガーデン

6 / 1 開業! ~入居者募集中~

◇入居金 不要(入居一時金・保証金・敷金等一切不要)

◇月額利用料 115,000円(家賃・管理費・光熱水費・食費込み) 他、介護保険利用料(1割負担分)等がかかります。

◇6 / 1 入居開始 全48室・全室個室

旧烏山東小学校を再生活用したホームです。(小木須2659-2)

■問合せ ☎0287-83-8735

自衛官募集相談員紹介

平成25年4月1日(月)付けで大谷範雄市長と自衛隊栃木地方協力本部の小林勇夫部長から任命を受けた自衛官募集相談員の紹介をします。自衛官相談員は、自衛隊志願者に対する情報の提供や学校への募集協力の促進、自衛隊の広報活動に対する支援等をボランティアで行っています。

○自衛官募集相談員(4名)

小林正夫さん(熊田)

郡司洋之助さん(曲畑)

蓮見信行さん(下境)

小泉 充さん(谷浅見)

■総務課 ☎0287-83-1111

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★こちらで新着図書が検索できます。★

<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

『地図でめぐる神社とお寺』帝国書院編集部
 『東日本大震災そのとき海上保安官は』海上保安会
 『衣類の洗濯・収納・お手入れ便利帖』山崎 勝
 『豪快バーベキューレシピ』たけだバーベキュー
 『泡沫日記』酒井 順子
 『脊梁山脈』乙川 優二郎
 『光の山』玄侑 宗久
 『よだかの片想い』島本 理生
 『快拳』白石 一文
 『軍神の血脈』高田 崇史
 『ボランティアバスで行こう!』友井 羊
 『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』村上 春樹
 『スカル・ブレイカ』森 博嗣

『ソードアート・オンライン 12』

川原 礫

『小説俺はまだ本気出してないだけ』

青野 春秋

●児童図書●

『池上彰と学ぶメディアのめ』

NHK「メディアのめ」制作班

『72時間生きぬくための101の方法』

夏 緑

『永遠に捨てない服が着たい』今関 信子

『お米なんでも図鑑』石谷 孝佑

『おまじないは魔法の香水』

あんびる やすこ

『ハコくん』北川 チハル

『サーカスさっちゃん』藤本 四郎

『メガネをかけたら』くすのき しげのり

『チリとチリリちかのおはなし』どい かや

『冒険! 発見! 大迷路悪夢の迷宮』原 裕朗

市の人口

2013.5.1現在
()対前月比

人口 28,007(-63)

男 13,791 女 14,279

出生 15 死亡 32

転入 88 転出 134

世帯数 9,586

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

編集後記

○今年は早めの入梅でした。梅雨と聞くと、何となく気が重くなります。最近、2歳の娘が、アニメソングを歌い始めました。でも、歌うのは、某テレビ局の影響で、昭和の懐かしい曲ばかり。梅雨を振り払う元気な声で、「いなかっぺ大将」を歌っています…(K)

○今年も各地区で「ホタルのイベント」が開催されます。昨年、「ホタルを見たい」と言う息子を連れて、行き帰り50分の行程、車を走らせました。今年は5分で「お家帰る〜」って言葉を聞くことがないよう息子の成長に期待…しています!(N)

○新社会人として2ヶ月が経ちました。毎朝、「いってきます」と家を出ると、両親、愛犬のモモ、時には離れに住む祖母と猫のミー、家族総出で家の外まで見送りに来てくれます。いつになったら子離れするのでしょうか…?(C)

苗代や雲を映して水光る 吉澤 紅月(南)	薬師堂山吹の崖行止り 安藤 セイ(中央)	茶を点てて椀の傾く花筵 森林 富喜(初音)	暮ぎはの水の匂へり鮎の川 荒井 浜子(中央)	俳句 齋藤 穂選	花盛り老木はまだ元気なり 石川 義郎(興野)	それとなく孝子櫻を見て帰り 塩谷ヨツイ(田野倉)	土俵での異人の髻も見なれて来 小川 昌子(向田)	同級生いつも電話で子の自慢 高野 久子(大桶)	川柳 篠崎 酔月選
-------------------------	-------------------------	--------------------------	---------------------------	-------------	---------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	--------------

作品募集

毎月10日までに、総合政策課秘書広報担当
 〒321-1069 那須烏山市中央1丁目1
 番1号 あて 郵送で作品をご応募ください。

蓮華田にようやく春の訪れて花摘む 須藤 ヤス(志鳥)	今はなき タバコ屋にあった赤電話 十円玉がつかないだ昭和 川俣登志子(旭)	うす紅に山桜萌えけむりたる峽の田 の面にみどりさざめく 田島 静子(中山)	子の投げし海螺のひとつがゆらゆら と日に透く海の藻に吸はれゆく 矢口 玄鳥(大金)	短歌 福澤 悦子選
-------------------------------	---	---	---	--------------



第3回

八溝そば街道そばまつり 2万3000人來場

イメージキャラクターもお披露目



八溝そば街道そばまつりが、5月11日(土)と12日(日)、山あげ会館周辺で行われました。このイベントは、八溝のそばを全国的に発信し、地域を活性化させようと、3年前から開かれているものです。初日は、午後から雨が降り出すあいにくの天気でしたが、5千人余が来場。好天に恵まれた翌日は、1万8千人と、両日合わせて、県内外から過去最高の2万3千人余が八溝のそばを味わいました。

棚橋誠一郎そばまつり実行委員長は、「県内外から、そば愛好者にお越しいただくので最高のおもてなしをしたい」とあいさつ。当日は、八溝地域のそば9店舗のほか、地元の食材を使ったご当地グルメや佐野ラーメン、横手焼きそば等のB級グルメも出店し人気を集めた。

した。なかでも、昨年引き続き、広島県「達磨雪花山房」の高橋邦弘名人の店は、列が途切れることなく、にぎわいを見せました。特設ステージでは、こども常磐津演奏会、烏章館内では、烏山燦陶(さん)会展示会が開かれ、多くの人々の目を引きました。家族7人で常陸太田市から来た益子さんは、「地元のそばも有名ですが、八溝のそばも負けず劣らず美味しい。また来たい」と話していました。

「ここなす姫」からすまる

「やまどん」が初登場!

11日(土)には、開会式に続いて、市のイメージキャラクターのお披露目も行われ、「ここなす姫」からすまる「やまどん」が初めて登場。県のマスコットキャラクター「とちまるくん」や市貝町の「さしばのサッチャン」、那珂川町の「なかちゃん」、NHK「いちごどーもくん」も応援に駆け付けました。子どもたちは、「かわいい」「一緒に写真とって」と、大人気で会場には笑い声が響き渡りました。

①そばを切る姿に興味津々②にぎわう会場③八溝そばを味わう人々④「やまどん・ここなす姫・からすまる」子どもたちと記念撮影。



有料広告

労福窓 相談日/月・木 10:00~16:00 (祝日は除く)

働く人の生活相談センター 那須

悩み事を、何処に相談したらいいか困っている方へ!

お問合わせ先 相談については無料です! お質問にご連絡下さい。

☎ (0287) 23-2701

〒324-0041 大田原市本町1-2704-62 猪瀬第3ビルC号 連合栃本那須地域協議会 内

全般 ①資金運用 ②税務相談 ③クレ・サラ相談	くらしの保障 ①生活保障相談 ②車検・住宅 ③生命・医療・自動車
---	--

総合広告代理店 各種印刷

(株)アド・ワークス

チラシ・伝票印刷・看板

www.adworks.ne.jp

那須烏山市野上1162 (寺澤太鼓店前)

Call. 0287-83-8633